

建設経済常任委員会

「市内農業者」との意見交換会

5月18日



テーマ：市内農業に係る現状と課題について

● 団体紹介

A.C.ハーマーズ2001は、20～30代を中心とし交流や情報交換等を目的に結成する相馬地域の青年農業者団体。

問 支援の在り方について。

答 農業用生産資材高騰緊急対策などスポット的な経済支援は大変ありがたい。しかし限られた財政の中では農業に限らず限度がある。他産業は資材が上がれば価格に反映できるが、農産物はそうならない。継続的な支援があればありがたい。また、市では「MINA UMA」を展開しているが、最終的に販売も含め収益に繋がるシステムにしていただきたい。

問 南相馬市農産物のブランド化について。

答 個人で良いものを作っても生産量や販売力に限度がある。また、南相馬市と云っても地域によって土壌の条件が違う。そういった条件を乗り越えて、まとまっていけばブランド化できる

のではないかと思う。

問 市が計画する園芸集出荷団地について。

答 ブロッコリーやネギが共撰できると聞いている。ブロッコリー出荷では共撰することによって省力化が図られるので期待している。現在、市内仲卸経由でスーパーなどへ販売している。施設が新たになり生産者・生産量が増えれば売り先が広がる可能性がある。そういった面でも期待している。

問 六次化、加工について。

答 補助事業等で六次化の話はよく聞くが、個人では生産量や設備投資を考えると手が出しづらい。南相馬市内の加工業者など横のつながりがあればうまくいく事もあると考える。

問 販売のストーリー性について。

答 ストーリーを発信することはすごく大切。ストーリーを見て、知り、買ってくれる。これを構築するのはすごく難しい。ブランド品や加工品をまとめSNS等で発信し、知ってもらうことはすごく大事なので、

市が仕組作りをしていただけるのならやってほしい。

問 今後の稲作について。

答 飼料用米の補助金が引き下げられる中で、主食米の比率を上げた。今後の国の政策を見ながら主食米を作付けしたい。併せて、麦・大豆の栽培面積を増やす考えである。

出席者

団体名	氏 名
A.C.ハーマーズ 2001	代表 仲野内勇作
	佐藤 哲也 (原ニューワールド)
	堀川 大輝 (美野里ファーム)
	原田 正己 (ひばり菜園)



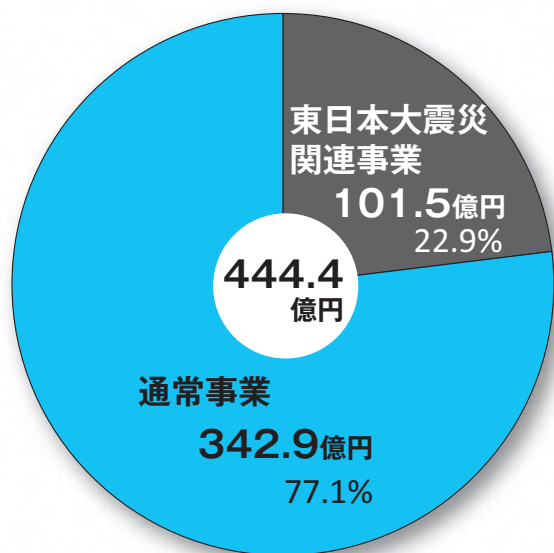
令和5年

5月臨時会 6月定例会

国の物価高克服に向けた追加策に伴う対応として5月9日に臨時会が、さらに6月14日から7月3日までの20日間6月定例会が開催され、条例7件、予算関係4件、その他4件の議案15件及び報告9件を審査し、原案のとおり可決しました。

令和5年度 南相馬市一般会計補正予算の概要

令和5年度一般会計予算に対し、補正予算額7億7,189万8千円を追加し、補正後の一般会計歳入歳出総額が444億4,175万6千円となった。



一般会計補正予算額

7億7,190万円

令和5年度一般会計予算規模

444億4,176万円

予算審査

一般会計予算

歳出

○個人番号カード等交付事業
2千594万円
【主な内容】

マイナポイントの申請を行う際の支援窓口の開設を行うもの。

【質疑】 個人番号カードには懸念があるし、プライバシーの観点から反対だと思っている人も市内では結構いる。マイナンバーカードの交付だけ進めると人権上の問題が生じてくるのではないか見解を伺う。

【答弁】 今回の補正予算はマイナンバーカードを持つている方がマイナポイントの申請を行う際の支援窓口の開設を9月末まで実施するものである。申請をしたいと言う方には申請のサポートを実施し、過度な勧誘にならないよう気をつけながら取り組んでいる。

○スポーツ合宿支援事業補助金
500万円
【主な内容】

スポーツ交流人口の拡大、地域の活性化を図るため、市内のスポーツ施設等を利用して合宿を実施する団体に対し、補助金を交付するもの。

【質疑】 今年度は北泉でサーフィン大会が開催され、相当な人数が本市を訪れる見込みである。このような場合も補助対象となるのか伺う。

【答弁】 スポーツ大会に関する補助となると対象外となるが、スポーツ大会に出場するため、事前に本市を訪れ、合宿で練習をする場合は本事業の補助対象になると考える。

○姉妹都市相互派遣交流事業
791万3千円
【主な内容】

姉妹都市であるアメリカ合衆国ペンシルトントン市との更なる友好関係の確立と将来の経済・文化交流を図るため、経済・文化相互交流

推進訪問団を派遣するもの。

質疑 当初予算で市長訪問団が行くのが決まった後、経済交流を拡充させようと言う話になった。そして5月の全員協議会で説明を頂き、持ち帰りになり、6月定例会に上程した経緯を伺う。

答弁 4月6日にペンドルトンとの経済交流の架け橋となっているふるさと大使の打矢氏から、今後経済交流を図るべきではないかというご意見を頂いた。今年度実施予定のペンドルトン市への市長訪問団に合わせて国際交流を図りたいという声があったこと等があり、これまでペンドルトン市と交流の合った団体とともに訪問することで更なる国際交流の裾野がひろがるということとで予算計上した。

審査の結果、原案の通り可決。

条例審査

○南相馬市東日本大震災等による被災者に対する国民健康保険税及び介護保険料の減免に関する条例の一部を改正する条例制定について

【改正概要】

令和4年度及び令和5年4月1日に解除された旧特定復興再生拠点区域を追加区域として区分設定する。(双葉郡からの転入者に対するもの)

質疑

今回の改正について、資料として提出されているが、今までも30km圏外、30km圏内や20km圏内の方々の減免について、市としても国に要望してきたかと思うが、今回、改定するに当たり、被災地としての減免ないし、手当の延長についての要望は出されているか伺う。

答弁

令和4年3月に国から財政支援の見直しの意見聴取があり、議会並びに区長連絡協議会や商工会に

説明し、意見を国に提出した。その後4月8日に見直しの内容が決定された。国からは財政支援等が示されており、減免制度の継

続並びに範囲の拡大については要望事項からは除かれている。審査の結果、原案の通り可決。

【参考】国の国民健康保険及び介護保険への財政支援の見直し方針

○：全額減免または全額免除

	年度	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10
・平成 26 年までに解除された地域 南相馬市では 20km～ 30km圏内 (旧緊急時避難準備区域・旧特定避難勧奨地点) ・避難指示区域等以外の被災区域 (30km圏外の津波被害等) ※半壊・大規模半壊の方は 1/4 減免	保険料・税	○	1/2減免	特例終了				
	一部・利用者負担金	○	○					
・平成 27 年までに解除された地域	保険料・税	○	○	1/2減免	特例終了			
	一部・利用者負担金	○	○	○				
・平成 28 年までに解除された地域 南相馬市では 20km圏内 (旧避難指示解除準備区域・旧居住制限区域)	保険料・税	○	○	○	1/2減免	特例終了		
	一部・利用者負担金	○	○	○	○			
・平成 29 年までに解除された地域	保険料・税	○	○	○	○	1/2減免	特例終了	
	一部・利用者負担金	○	○	○	○	○		

※平成30年度以降に解除された区域については、今後順次、見直しが実施される。



南相馬市民プール（完成イメージ）

答弁 それぞれ合理的な変更や市民の安全管理が確認され、また、4月から指定管理者を置くことになるための準備が確認された。審査の結果、原案の通り可決。

○スポーツ施設条例の一部改正する条例制定について

【改正概要】
2施設を集約し、新たに「屋内温水プール」として整備している『南相馬市民プール』が来年4月に供用開始を予定することから、条例に「施設名称、利用料金等」を定めるもの。

その他

○財産の取得について
1億1千170万円

【主な内容】

令和5年度被災地域農業復興総合支援事業
・農業用機械

質疑

この事業は、今後の地域営農を担っていた法人や団体等に農業用機械を提供しているが、特に小高区は基盤整備などまだ手つかずの地域もあることから、この事業はいつまでを目途としているのか。

【答弁】

国の考えでは、令和7年度までこの制度が続くという事がまず確定しており、それ以降については、まだ結論が出ていないという状況である。市としては、まだ圃場整備が終わらない地域など多数見受けられることから、令和7年度までは短すぎると認識しており、要望活動を通じて延長をお願いしている。

審査の結果、原案の通り可決。

請願

○請願 第2号

平和、いのち、くらしを壊す大軍拡予算案に反対し、大軍拡などを決定した『安保3文書』の撤回を求める意見書提出の請願について

【請願内容】

国民に負担を押し付ける大軍拡、大増税はやめ「安保関連3文書」を撤回するよう日本政府に対し求めるもの。

【請願者氏名】

新日本婦人の会南相馬支部 支部長 荒木 千恵子
審査の結果、採択。

○請願 第4号

地方財政の充実・強化を求める意見書提出の請願について

【請願内容】

地方財政の充実、強化が不可欠なことから、10項目の実現を日本政府に対し求めるもの。

【請願者氏名】

原町地区連合 議長 野本 侑希
審査の結果、採択。

委員会提出議案

○委員会提出議案 第3号

南相馬市議会委員会条例の一部を改正する条例制定について

【提案内容】

機構改革に伴う所管の改正を行うとともに、予算決算常任委員会で一般会計予算以外の予算・決算審査を総合的かつ一体的に行うため、必要な改正を行うもの。

【提出委員会】

議会運営委員会
審査の結果、原案の通り可決。

○委員会提出議案 第4号

地方財政の充実・強化を求める意見書の提出について

【提案内容】

請願第4号の採択を受けてのもの。

【提出委員会】

総務生活常任委員会
審査の結果、原案の通り可決。

議員提出議案

○議員提出議案 第2号

平和、いのち、くらしを壊す大幅な軍備拡大に係る、『安保3文書』の撤回を求める意見書の提出について

【提案内容】

請願第2号の採択を受けてのもの。
審査の結果、原案の通り可決。

人事関係

○教育委員会の委員の任命につき同意を求めることについて

和^わ田 菜^な子（小高区）新任
審査の結果、原案の通り可決。



小高小学校

全国市議会

議長会

議員表彰

全国市議会議長会 第99回定期総会において、特別表彰の議員在職20年以上として当会の表彰規程に基づき受賞。

写真右より

細田 廣 議員

（在職20年以上）

竹野 光雄 副議長

（在職20年以上）



令和5年6月定例会で賛否が分かれた審査

議案第46号

南相馬市東日本大震災等による被災者に対する国民健康保険税及び介護保険料の減免に関する条例の一部を改正する条例制定について

【改正概要】

令和4年度及び令和5年4月1日に解除された旧特定復興再生拠点区域を追加区域として区分設定する。

反対討論



郡 俊彦 議員

総務省のホームページで「国民健康保険は、保険料と保険給付との相対的な対価関係を基本」と説明されている。

「毎年必要なだけ税として集めることが基本」なのである。

震災直後の国保会計の基金は900万円でしたがその後5年間で18億9千万円に、年3億7千万円も急激に増えている。納めていたのは、30km圏外の市民である。国・県指導を遙かに超えて取り過ぎていた事になる。

ので反対する。

賛成討論



今村 裕 議員

只今、るるご指摘があったが、それらについては今後調査研究が必要であると認識している。その上で30km圏外の皆さんの気持ちを汲むべきとの指摘については、執行部も当然、意を用いながら格差が広がらないように努力している。また本案は、東日本大震災による被災者に対する国民健康保険税及び介護保険料の減免について、新たに指定が解除された区域を区分認定するために必要なものであることから、本案に賛成する。

議案第47号

南相馬市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について

【改正概要】

新型コロナウイルス感染症の影響により収入の減少が見込まれる場合等について、令和5年3月31日までの資格に

賛否が分かれた審査

係る国民健康保険税に限り令和5年度においても減免を継続するもの。

反対討論

郡 俊彦 議員

2018年から国民健康保険制度は、県内一本化され18億円の基金は必要なくなり、基金制度が廃止された。18億円は、震災後の混乱の中で振り過ぎた分の積立金なので、全額納めてきた人達に返すべきであった。

しかし、南相馬市は積み立てた18億円のお金を、新たな「国民健康保険事業調整基金」に移した。

30km圏外は、医者代も免除されずに、差別待遇を受けてきた。取り過ぎた分を返す事を求め反対する。

反対討論



渡部 一夫 議員

南相馬市の国民健康保険税の課税は、見込収納率を減免分と課税分の各々の収納率を用い、又あん分率据置で算出

している。本来のあん分率算出は、県納付金の国民健康保険税額を、直近の平均収入歩

合が見込収納率となり、調定額が求められ、この調定総額を標準割合で配分し、所得割総額、均等割総額、平等割総額を算出する。そして、全被保険者の基準総所得額と総人数及び総世帯数を確定し、あん分率を算定する。この一連の計算されていない賦課課税に問題がある。

賛成討論



櫻井 勝延 議員

今回の条例改正については、新型コロナウイルス感染症対策としての保険税の減免を行うための改正をするものであり、賛成致します。反対討論の中で指摘された国民健康保険税の本算定については、6月議会で審議しなければならぬし、基金の取り扱いについても執行部は配慮していかなくてはならないと思う。

賛成討論

今村 裕 議員

本案は、あくまでも新型コロナウイルス感染症対策ということを目的としたものである。ただ、ご指摘のあった積立金や案分率については、引き続き精査し市民の方々のご理解・納得を得られるよう、しっかりと対応していただきたいということを申し添え、本案に賛成する。

賛成討論



櫻井 勝延 議員

議案第51号
令和5年度南相馬市一般会計補正予算について
【概要】
国の「物価高克服に向けた追加策」に伴う対応など、緊急に対応すべき予算を計上するもの。

反対討論

郡 俊彦 議員

ペンドルトン市と交流で、突然の「経済・文化相互交流訪問団派遣事業」を削除しての再提出を求め反対する。
「市民の血税のつかい方を決める」という意識が見えない。
①計画性の欠如である。5月中旬以降に突然出てきたにわか作りの「事業」である。

②次に市民不在の計画である。
③日の当たるところ優先ではないか。タクシード・医者代の負担で悩んでいる人達がいる。
市全体を見て優先順位を検討すべきである。

賛成討論



小川 尚一 議員

令和5年度南相馬市一般会計補正予算の、姉妹都市相互派遣交流事業については、米ペンシルトン市への市長訪問団に市民団体などの11名が同行するものである。経緯が不透明など議論があり、国際的な経済交流や文化交流が目的としながらも、具体的に求める成果も見えない。成案となっていない等の意見もあり、今後は成果を踏まえ予算計上するよう、意見を付して賛成する。

賛成討論



志賀 稔宗 議員

問題視される姉妹都市相互派遣交流事業は、市の基本構想の中にもしつかり位置づけられている。以前に市民公募の考え方も示されたが議会の意見を尊重し、商工関係や国際交流関係代表による派遣となった経過である。交流事業は地域経済の活性化、人材育成等大切な事業と思う。一方生活に困窮する市民も少なくない。この点もしつかり目配りをした施策とセットで考え、力を入れてほしい。

議員提出議案第2号
平和、いのち、くらしを壊す
大幅な軍備拡大に係る、『安保3文書』の撤回を求める意見書の提出について
【概要】
大幅な軍備拡大や増税をやめ、閣議決定した「安保3文書」を撤回し、国会で議論し民主的解決を図ることを日本政府に対し求めるもの。

反対討論



太田 淳一 議員

2023～2027年度までの必要な経費43・5兆円のうち、敵の射程圏外からの攻撃を可能とする長距離ミサイルなど、スタンド・オフ防衛能力は5兆円としている一方で、装備品の修理等に9兆円、宇宙・サイバー・陸海空自衛隊の装備品に8兆円など、戦争準備や大幅な軍備拡大に繋がるとは言えない。

専守防衛の考え方に変わりがなく、日本を取り巻く安全保障環境に対応する必要最小限度の防衛費であることから、本議案に反対する。

賛成討論



渡部 寛一 議員

ウクライナ危機に乗じ、北朝鮮の策謀に乗じて不安をあり、大軍拡をしようとして

いる。軍事力を強めるほど使つてみたくなることは歴史上明らかである。新たな「戦前」になつてはいけません。日本国憲法にそつた国際関係を重視した対応を強く求めます。

請願書添付意見書案から修正されているが、よく分かりやすくの修正であり、本請願の紹介議員である私は、この意見書に全面的に賛成する。

令和5年6月定例会で賛否が分かれた審査

議 案 議 員 名				議決結果	友 和 会					改 革 ク ラ ブ					尚 友 会					志 政 会		無 会 派				
					大場裕朗	菊地洋一	中川庄一	田中一正	今村裕	田中京子	鈴木貞正	竹野光雄	小川尚一	渡部一夫	大岩常男	山田雅彦	細田廣	平田武	太田淳一	岡崎義典	鈴木昌一	志賀稔宗	渡部寛一	櫻井勝延	郡俊彦	表信司
6月定例会	市長提出	条例	議案第46号	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	×	○
		条例	議案第47号	可	○	○		○	○		○	○	○		×	○	○	○	議	○	○	○	○	○	×	○
		予算	議案第51号	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	×	○
	議員提出	意見書	議案第2号	可	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	○	議	×	○	○	×	○	○	○	○
		請願		請願第2号	可	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	×	議	×	○	○	×	○	○	○	○

○ 議決結果欄の意味はそれぞれ次のとおり 同 可決 否 否決 網 継続審査
○ 採決の結果欄の意味はそれぞれ次のとおり □ 賛成 ✕ 反対 議 議長 欠 欠席 退 退席

一般質問



今村 裕 議員

公共施設の適正管理・
使用について



小高区内旧3小学校・
幼稚園の利活用

問 各々の施設の今後の
利活用策を伺う。

答 金房は飯崎産業団
地として、鳩原は農業
研修機関として、それ
以外の施設については、
地域コミュニティ及び
産業振興を含め、地域
活性化に資する用途で
利用する考えである。

旧小高商業高校跡地の
利活用

問 平成30年9月議会
でも同様の質問をした
が、その後の状況につ
いて伺う。

答 県は、令和5年2
月に県立高等学校の統
廃合で生じる空き校舎
や土地について新しい
方針を示したが、その
枠組みに小高商業高校
は入っていない為、今後
も情報収集していく。



市営住宅の有効的な利活用を

市営住宅の利活用

問 現在、市内には災
害公営住宅を含め1千
391戸あるが、入居率が
75%となっている。積
極的な活用を推進すべ
きと考えるが、見解を
伺う。

答 4月1日現在で空
部屋は265戸あるが、内
39戸は修繕が必要な
為、正確には226戸であ
る。その内、政策的な
空部屋として127戸を用
途廃止予定団地の移転
先として、23戸は火災

一般質問

質問を終えて

人は一代、名は末代。
後世に語り継がれるよ
うな政策提言・実行し
て頂くことを期待する。

その他の質問

- 1 小高区内3小学校・
幼稚園の賠償額は
- 2 移住者への市営住宅
の貸出しについて
- 3 県の復興公営住宅の
有効利用について

総合計画市民説明会の
市長欠席について



櫻井 勝延 議員

市民が安心して
暮らせる市政のために



問 総合計画の認識と
市民説明会へ市長が出
席しなかった理由につ
いて伺う。

答 震災と原発事故で
市外への避難や転出、
出生数の低下で年少人
口、生産年齢人口の減
少が加速している。持
続可能なまちづくりを
進める上で一番の問題
だと捉えている。
市長等は出席せず担
当職員による説明や意
見交換等を通じ、参加
者が自由な意見を出し
易い環境づくりに努め
た。

JR鹿島駅舎の取扱と
JRとの協議について

問 JR常磐線鹿島駅
舎の取扱いとJR東日
本との協議経過につ
いて伺う。



現在の鹿島駅舎

答 JR東日本鹿島駅
改修計画見込の話が水
戸支社よりあった。鹿
島駅は、まちづくりの
上で重要な施設である
ことから、JR東日本
と協力し鹿島駅改修に
ついて検討していきたく
いと回答した。

再生可能エネルギー推
進について

問 電力価格が値上げ
ラッシュの中で、再生
可能エネルギー推進の
取組について伺う。
答 本市は家庭におけ
る新エネルギー推進の

その他の質問

- 1 市役所職員の採用数
と働き方について
- 2 汚染処理水放出に対
する対応について
- 3 病院職員採用の必要
性と経営について

質問を終えて

市長には全ての市民
に向き合う姿勢を示し
てほしい。

問 以前の10kw補助が、
3kwとなった。以前の
通りにすべきではない
か伺う。

答 補助要綱は、令和
元年度に大きく改正し
た。

タイトル下の QR コードを読み取ると、質問者の動画を視聴できます。



郡 俊彦 議員

100年のまちづくりに向けて、
どうするか



それぞれの駅周辺に、

問 自治区毎の予算枠を定めた新市・合併の基本理念について、どう考えているか。

答 地方分権等、基本理念を引きつぎ、100年のまちづくりに取り組んでまいり。

問 10年先までの財源見通しを立て、予算編成をしていくべきでは。

答 3年間の財政推計を実施して、予算編成を行っている。

問 市民要望、各課の課題全てを洗い出し、公開し、市民の意見を聞きながら、10年目標の優先順位を検討すべきではないか。

答 歳出の優先順位は、各課で、市民意見なども踏まえ、精査した上で決定している。

問 市長が就任された2018年3月に都市計画マスタープランが策定されている。3区



30・50 年後に向けて“どうする”鹿島駅

答 JR から申し入れがあり、今話合いに入

問 常磐線活性化や駅舎の問題も含めて市長の考えを問う。

答 重要な計画であると捉えている。

ろうという段階である。

問 10年先までのおおよそお金をどれだけ使えるか、20年先まではこのくらい等の目標がなければ、マスタープランも自治区の計画も進まないではないか。

答 年次計画を立てて、財政部局と協議を行い、事業を実施して参る。

質問を終えて

自治区毎のまちづくりとマスタープランの重要性は認めましたが、問題は財政計画です。

その他の質問

① 新庁舎建設を「文言の修正」で決めた理由は



太田 淳一 議員

持続可能な
まちづくりに向けて



「交換」を行うための

問 本市の持続可能な人口数を保つためには、「みらいづくり1.8プロジェクト」をはじめとした将来人口を増やす取り組みが重要と考えるが見解を伺う。

答 本市では、市の総力を挙げた少子化緊急対策である「みらいづくり1.8プロジェクト」について、持続可能な

社会を維持する上で、非常に重要な取り組みであると考えている。非常に高い目標ではあるが、将来においても現状の出生数が維持できるよう、出会いから結婚の支援、子育て環境の充実、更には、若い世代を中心とした移住定住の促進など、全市を挙げて少子化対策に取り組む考えである。

問 イベント等の開催時に「授乳」や「おむ

きと考えるが見解を伺う。

答 本市では、イベント等において、移動可能なテントや折りたたみ式おむつ台を備えた移動式赤ちゃんの駅があることで、赤ちゃんと一緒に安心して参加できる環境が整い、親子が楽しく過ごせる機会を増やすことができると考えていることから、「赤ちゃんの駅」認定制度と共に、調査・研究する考えである。

質問を終えて

超少子化社会の及ぼす影響が、どれほど恐ろしい事かを、全国民が考えるべきである。

その他の質問

① 第三次総合計画の人口推計について
② 「赤ちゃんの駅」制度の導入について



二本松市が導入した「移動式赤ちゃんの駅」

一般質問



志賀 稔宗 議員

防犯カメラの適切な設置で安全安心を



問 带状疱疹ワクチン接種の促進のため助成すべき、市の見解を伺う。

答 情報提供とともに接種費用に対しての支援助成できるよう手続を制度化に向け進める。

問 市内での強盗事件後、防犯カメラに関心が高まっているが設置支援への見解を伺う。

答 過去の犯罪発生箇所や地理的条件等を考慮し市内31ヶ所に設置している。家庭用については普及率が上がり大分安価になったこともあり情報提供が妥当かなと思う。一方高齢者の安全安心の手法と

してカメラも考えられると思う。現在要支援者等に非常通報装置等設置もあることから、防犯カメラは一つの可能性として検討したい。

問 防犯灯の設置基準を見直し、私道でも要望の強い合理性のある場所には設置すべきと思うが見解を伺う。

答 防犯灯は歩行者の安全確保や防犯事故防止の有効な手段であり公益性の高い私道への設置にむけ設置基準を見直し、令和6年度からの運用開始を目指す。

問 要配慮等に対する粗大ゴミ出し支援をする必要があると考える

が現状状況を伺う。

答 現在要配慮者家庭ゴミ戸別収集事業を実施しているが粗大ゴミは対象としていないことから今後市民に寄り添って相談に乗ることとする。粗大ゴミ対応の仕方が有償、無償等庁内協議の必要がある。支援体制、手続について継続して協議する。

質問を終えて

带状疱疹ワクチン接種支援や防犯灯の私道設置、粗大ゴミ出し支援への道開き安心が向上。

その他の質問

- 1 イノベーション・イノベーション・イノベーション
- 2 国際研究教育機構との連携強化について
- 3 ボランティア防犯パトロールに支援策を



小川 尚一 議員

デジタル社会での行政経営の効率と効果



問 昨年からDX（デジタル・トランスフォーメーション）の進捗状況を伺う。

答 本市では、東日本大震災以降、全力疾走を続ける中で、手が回っていない業務改善、業務の効率化等のため、昨年度よりDXを推進している。令和4年度は、DXを推進する土台を構築するため、以下に取り組んでいる。

① DX推進体制を構築するため、市デジタル推進本部を設置し、若手職員をDX推進員としたワーキンググループを置き、全庁横断的体制を整えた。

② DXに取り組む意義の共有について、なぜ改革が必要か、変革でどう変わるのかなど、研修等を繰り返している。

③ 現状の業務手順の見え方のため、業務ごと

に手順と業務時間数を可視化した。

④ DX推進ビジョンの策定のため、基本的な考え方や進め方、目指す方向性がぶれないようビジョンとして取りまとめた。

令和5年度は、構築した土台を基に変革が実感できるよう取り組みを進める。



庁内で取りまとめたDX推進ビジョン

問 南相馬市地元業者優先発注に係る実施方針を踏まえ、市内公共施設への自動販売機設置は、大手企業が入札で多くを確保している

地元業者優先発注を

- 1 病院事業の地元業者優先発注の取組みは
- 2 中心市街地活性化計画策定について
- 3 商店街街路灯の必要性と、維持について

質問を終えて

DXは、デジタル社会において「住民生活の質向上」を目指し、市民に寄り添ったものであるべきである。

A black and white portrait of Shiro Kato, an older man with glasses, wearing a dark suit and a light-colored shirt. He is looking directly at the camera with a neutral expression. The background is slightly blurred, showing what appears to be a staircase or a modern architectural structure.

コミュニティ形成と
心の復興について



南相馬市
大学生等フィールドワーク・交流活動支援事業

問 支援を受けて自治会を設立したからといって、必ずしもコミュニティができるわけではない。心のケアでは、専門職による相談や生活再建への伴走、被災者の見守り訪問などが行われてきているが、だからといって、心の復興が成し遂げられたわけではないと考える。そこで、コミュニティの形成や心の復興の現状について伺う。

答 市では、コミュニティ形成に係る取組として、「地域の絆づくり支援事業」を実施している。この事業は、地域の方々自らが行うもので、独自の事業が実施されることにより、コミュニティの維持、活性化が進められていると捉えている。また、心の復興に関し

問 行政が行う被災者への支援は、徐々に被災の有無に関係ない平時の住民サービスに切り替わりつつあるのではと思われる。一方で、現場での支援は多様な担い手によって続けられているが、財源がいつまで予算づけされると考えているのか伺う。

答 令和7年度までの第2期復興・創生期間後の財源フレームについては示されていない。このため、現場の実情に応じて、引き続き中長期的にわたる復興財源の確保を国に求めていく必要があると

国民健康保険税は今年度より納付が再開されるが、市民が分かり易い税負担にすべきだ。

- ① 市民が求める情報の在り方について
- ② 感染症法の位置付けの変更について
- ③ 物価の伸びと生活について

不良資産を洗い出し、
処分を進めよう!!



問 市内には、令和4年度末現在206筆9万2千05㎡の未利用地がある。

国際研究教育機構との協
定締結、関係強化を!!

答 全庁的な連携体制として課題共有会議の設置、また幅広い専門的な外部知見が重要と考え民間専門人材を配置し、実効性のある取組を戦略的に進める。

また9月にはサーフイン大会が開催される予定で、各1万人以上の来場者を見込んでいます。駐車場不足との声があるが、未利用地を臨時駐車場に整備し利活用すべきと考えるが見解を伺う。

問 原ノ町駅東・西口の駐輪場整備、バス停移設による乗降場の確保、橋上東口改札（一口バス口）を新設する考えがあるか伺う。

第2期復興・創生期間は令和7年度まで。本市の未来が決まる大切な時を全力で頑張る。

- 1 警察・消防との情報共有と市民への発信
- 2 防犯カメラ等、防犯対策費用の補助制度
- 3 鹿島駅・相馬支援学校間に音響式信号機を



今夏に実施されるイベント

一般質問



渡部 寛一 議員

避難所の対策強化を

避難所の対策強化を



問 近年の大雨・短時間強雨の頻発化の背景には、地球温暖化の影響がある。全国でそして南相馬市でも、大きな被害をもたらしている。災害発生時等の際、緊急に非難することが人命を守るために重要である。

答 パソコンやスマートフォンで南相馬市避難所を検索すると、避難所八〇か所は表示されるが、災害の種別等や要配慮者等の個々人の状況に応じた適切な避難所が検索できない。速やかな改善を求めるが見解を伺う。

問 現在、ほとんどの家庭では洋式トイレになってきている。避難所の洋式トイレの実態はどうなっているか伺う。



市のハザードマップより

答 避難所77ヶ所すべてに洋式トイレが利用できる。全体洋式化率は

は90%である。
問 一部の避難所で、洋式便器が不足している。仮設トイレ等を組み合わせ、必要な数を確保すべきであると考えている。必要な数を確保している。

質問を終えて

人としての尊厳にもかわります。災害前に万全の構えを整える南相馬市に…。

その他の質問

- 1 要介護入所施設の未稼働ベットの事態は
- 2 国に介護職員賃金改善を強く求めよ
- 3 当面、市単独で介護職員処遇改善を

道路整備方針について



岡崎 義典 議員

小高区文教ゾーンの整備を急げ

小高区文教ゾーンの整備を急げ



問 小高小学校の北側や、旧小高商業高校の周辺には狭隘な道路がある。文教ゾーンの道路整備に計画的に取り組む必要があると考えるが見解を伺う。

答 震災後は震災復興復旧事業に重点を置いてなかなか整備が進まない状況。学校周辺は細い道についても歩道の設置が必要と推進会議でも意見が出ているが、道路整備がすぐできない箇所もあり、路面標示などのソフト対策を含めながら対策を講じたい。

旧小高商業高校の跡地利用は

問 震災後の議事録を遡ったが、まず平成27年12月議会が一般質問した。文科省の廃

校利用の事例などを紹介しながら、積極的に活用を検討すべきという提案に対して、県と協議しながら検討するという答弁であった。しかし検討しますと言いつつ、もう令和5年6月。何をどうすれば物事が進んでいくのか伺う。

答 小高小学校と小高中学校における小高一貫校の方針が検討中であること。また、令和5年2月に出てきた県の方針。廃校になった高校を市町村が希望する場合には譲渡、加えて改修費等を一部補助する話だが、現在旧小高商業高校は入っていない。県との協議の動向が分かれば方向も見えてくる。場合によっては市の構想なりを示す手順で進めたい。

質問を終えて

小高区文教ゾーンは、小・中・高校、認定こども園、屋内遊び場と集約されたエリア。



利活用が求められる小高商業高校

その他の質問

- 1 認知症施策「共生と予防」について
- 2 インクルーシブ公園の設置について
- 3 道路不具合や防犯灯故障の通報について

タイトル下の QR コードを読み取ると、質問者の動画を視聴できます。



市立総合病院の待合風景

問 電子カルテシステムの更新に合わせて、受付番号呼出表示システムの導入を行い、令和6年度から運用し、プライバシーに対する不安や待ち時間の不満の解消を図っていく。

答 病院の自動化（ＩＴ・ＩＣＴ）なども進んでおり、来院する受付患者に番号制を導入し、不安や不満などを解消することが大切と考える。市の見解を伺う。



大岩 常男 議員

市立病院の来院者の 利便性向上について



問 道路沿いの空き家からの落下物で、通行人等が怪我をする恐れのある空き家等を、早急に市が確認と対策をする必要があると考える。見解を伺う。

答 空き家などの外壁材や瓦などの落下で、通行人への影響が及ぶと判断した場合、カラーコーンやロープ等を設置。令和5年度から、倒壊等著しく保安上危険と判定された特定空家や管理不全な空き家に、空き家解体支援事業補助金を創設。所有者の経済的な負担の軽減に努め、空き家の適正な管理の周知をする。

問 人生100年時代の健康増進について、歩くことが運動の基本と考え、県下1位の長寿南相馬市を目指し、高齢者に歩くことを普及、啓発するべきと考える。市の見解を伺う。

答 歩くことは、身体活動量を増加させ、筋力や体力の維持、心肺機能の向上、生活習慣病による死亡リスクの低下、また、閉じ籠りやうつ予防、認知機能の低下予防にも効果があり、歩くことの大切さを普及、啓発していく。

質問を終えて

市立総合病院でのプライバシー等の違和感をなくし、診察待ち時間の不満解消を！

その他の質問

- ① 虐待などの不適切な保育への対応について
- ② 高校生などの自転車用ヘルメット着用は法の略式代執行は
- ③ 改正された特別措置法の略式代執行は

令和5年度5月臨時会 南相馬市一般会計補正予算の概要

国の「物価高支援に向けた追加策」に伴い、緊急に対応すべき予算、補正額2億2千243万円を増額した。

○電力・ガス・食料品等価格
高騰重点支援給付金支給事業
1億6千250万円

【主な内容】

特に家計への影響が大きい
住民税非課税世帯に対し、給
付金を支給する。

対象見込世帯数…5千世帯
給付額…1世帯当たり一律
3万円



○子育て世帯生活支援特別給
付金支給事業
6千185万円

【主な内容】

特に家計への影響が大きい
低所得のひとり親・ふたり親
子育て世帯に対し、給付金を
支給する。

(1) 児童扶養手当受給世帯
(低所得のひとり親世帯)

(2) 住民税非課税世帯の子育て
世帯（その他低所得のふたり
親子育て世帯）
対象見込世帯数…727世帯

(対象児童数1千183人)
給付額…児童1人当たり一律
5万円

常任委員会閉会中調査



多くの人が利用する駐輪場が快適に利用できるよう一人ひとりのマナーが問われます。

れた自転車は、定期的に稼働状況を確認の上撤収することとしています。撤収後場内で一定期間保管した後、処分します。放置防止対策として使用後の自転車引き取りを依頼する文書を送付するなど放置自転車の解消に向けた取り組みを行っています。

総務生活常任委員会

駐輪場の放置自転車の現状について

原ノ町駅駐輪場の放置自転車の発生は、主に通学等で利用されているものが卒業等により引き取られないことにより発生しています。放置さ

文教福祉常任委員会

「鹿島小学校・福島県立相馬支援学校」の状況調査について

令和5年5月18日に、鹿島小学校の教室内の整備・トイレ洋式化状況、手洗いの場の設置数等について調査しました。



また、八沢小学校との合併後の通学方法、制服・ジャージ等に関する保護者等への負担、今後の児童数の推計等を確認しました。福島県立相馬支援学校では、学部・学年別児童生徒数、出身地、障がいの状況の他、通学方法、通学距離・所要時間等について調査しました。

令和4年福島県沖地震の被災により屋内プールなど一部使用が制限される施設があります。が、看護師の配置など児童生徒の急変に対応できる体制を構築しております。

建設経済常任委員会

「ミライエ」及び「よりみち」状況調査

南相馬市旭町に相談窓口がある、南相馬空き家・空き地サポートセンター「ミライエ」と移住相談窓口「よりみち」の状況調査を行いました。

「ミライエ」は南相馬市の空き家・空き地を活用するため、市内の宅地建物取引協会・不動産協会・建築士協会の3団体が南相馬空き家・空き地サポートセンターを設立、その相談窓口が「ミライエ」です。

「よりみち」は、移住定住の相談窓口としてMYSH（同）が運営。移住後の生活を知るため、移住した人との交流などを事業とし、まちづくり事業、まちの魅力発信・ツアー事業などを展開しています。



3月定例会後から6月定例会までの議会活動について

令和5年 4月11日	広報特別委員会（委員会室）
4月14日	広報特別委員会（委員会室）
4月18日	広報特別委員会（委員会室）
4月24日	総務生活常任委員会閉会中調査活動（議員控室）
4月25日	議会運営委員会（議員控室）
5月9日	臨時会（議場）
5月10日 ～11日	文教福祉常任委員会先進地視察（北海道）
5月18日	文教福祉常任委員会閉会中調査活動（委員会室）
5月18日	建設経済常任委員会閉会中調査活動（議員控室）
5月18日	建設経済常任委員会意見交換（議員控室）
5月19日	総務生活常任委員会閉会中調査活動（議員控室）
6月9日	議会運営委員会（議員控室）

常任委員会閉会中調査・3ヶ月間の議会活動

文教福祉常任委員会

先進地行政視察報告

「英語教育・中高一貫校教育の取組みについて」

北海道札幌市（5月10日）

札幌市立札幌開成中等教育学校での英語教育・中高一貫校教育の取組みは、市民からの中高一貫校の設置要望があり、2004年に教育委員会が「札幌市教育推進計画」を策定し、中高一貫教育校の設置に向けた検討が進められ2015年に開校しました。

学校の経営方針として、自立した学習者を育成する。国際的な視野と科学的教養を身に付けた人材を育成する。自ら学びと将来をデザインのできる人材を育成する。自己を肯定し、多様な価値観を認め合う心を育成する。等と定めております。

文部科学省から指定されたスーパーサイエ



ンスハイスクール、また認定された国際バカロレアのディプロマ・プログラムに沿った教育が実地されております。

現状として同校の前進である市立開成高校時代より国立大学への進学率は2倍近くに向上し、一貫校を設置すること、カリキュラム等により大学進学が有利になるとの親の思いが叶えられているようです。

「ケアラー支援条例について」

北海道栗山町（5月11日）

ケアラー支援条例の制定のきっかけは、栗山町社会福祉協議会に対して日本ケアラー連盟からの声掛けがあり、町内で介護している人の実態調査を行なった結果、介護保険制度では救えない世帯が多く、その6割が体調不良を訴えていることが判明しました。

介護しているのに介護保険制度では救えない、特に家族でケアしている方々をいかにサポートできるかを主眼に、財源の確保も含め条例化されました。

ケアラー支援委員推進協議会の民生委員、児童委員等とボランティア登録されている15名のケアラーサポーターが連携を図りながら活動しております。

今後、ケアラー支援も含めた介護予備軍、すなわち介護認定には至っていないが、フレイルが進み自立した生

活が難しくなってきた人の待機場所について

も検討していくそうです。



令和4年度政務活動費（12～3月分）精算一覧を公表します

（単位：円）

会派名	改革クラブ	尚友会	友和会	志政会	無会派	無会派	無会派	無会派 (公明党南相馬市議団)	無会派	総合計
会派構成	渡部 一夫 小川 尚一 竹野 光雄 鈴木 真正 田中 京子	太田 淳一 山田 雅彦 平田 武廣 細田 常男	今村 裕 菊地 洋一 中川 庄一 田中 正裕 大場 裕朗	鈴木 昌一 岡崎 義典	表 信司	郡 俊彦	櫻井 勝延	志賀 稔宗	渡部 寛一	
収入内訳	会派への交付額	400,000	400,000	400,000	160,000	80,000	80,000	80,000	80,000	1,760,000
	預 金 利 子	1	0	2	0	0	0	0	0	3
	会派の収入合計(A)	400,001	400,000	400,002	160,000	80,000	80,000	80,000	80,000	1,760,003
支出内訳	調 査 研 究 費	198,438	0	179,260	0	44,815	0	0	29,490	452,003
	研 修 費	0	172,180	0	0	0	0	0	0	172,180
	広 報 費	147,460	0	0	0	0	63,718	0	0	211,178
	広 聴 費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	要請・陳情活動費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	会 議 費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	資 料 作 成 費	16,500	46,400	0	0	0	22,784	0	28,970	114,654
	資 料 購 入 費	0	0	0	38,046	0	0	0	20,790	58,836
	人 件 費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	事 務 所 費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	会派の支出合計(B)	362,398	218,580	179,260	38,046	44,815	86,502	0	79,250	1,008,851
	収支差引額(A - B)※1	37,603	181,420	220,742	121,954	35,185	△ 6,502	80,000	750	757,654
	市 へ の 返 還 額	37,603	181,420	220,742	121,954	35,185	0	80,000	750	757,654

※1 交付額を超える支出（収支差引額）については、各会派の負担となります。

政務活動費とは

政務活動費は、会派（所属議員が1人の場合も含む）が行う市政の課題及び市民の意思を把握し、市政に反映させる活動その他住民福祉の増進を図るために必要な活動に要する経費に対して交付するもので、使途基準は以下のとおりになります。（1人月額20,000円×会派の人数）

また、領収書又はこれに準ずる書類を添付し報告書を作成し、残余がある場合は返還となります。

項 目	内 容
調査研究費	市の事務、地方行財政等に関する調査研究及び調査委託に関する経費
研修費	研修会を開催するために必要な経費、団体等が開催する研修会の参加に要する経費
広報費	会派が行う活動、市政について住民に報告するために要する経費
広聴費	住民からの市政及び会派の活動に対する要望、意見の聴取、住民相談等に要する経費
要請・陳情活動費	要請、陳情活動を行うために必要な経費
会議費	各種会議、団体等が開催する意見交換会等各種会議への会派として参加に要する経費
資料作成費	図書、資料等の購入に要する経費
資料購入費	図書、資料等の購入に要する経費
人件費	活動を補助する職員を雇用する経費
事務所費	事務所の設置及び管理に要する経費

南相馬市議会について

南相馬市議会は、市民の皆様が選挙で選んだ議員で構成され、市民の代表として市政に民意を反映し、市民全体の幸福のために活動しています。

○ 南相馬市議会の定数は？

22人です。

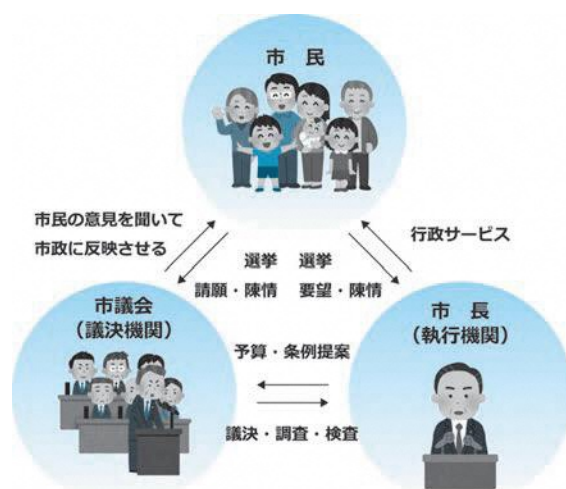
○ 南相馬市議会議員の任期は？

4年です。

(現職議員の任期満了日は
令和8年11月30日)

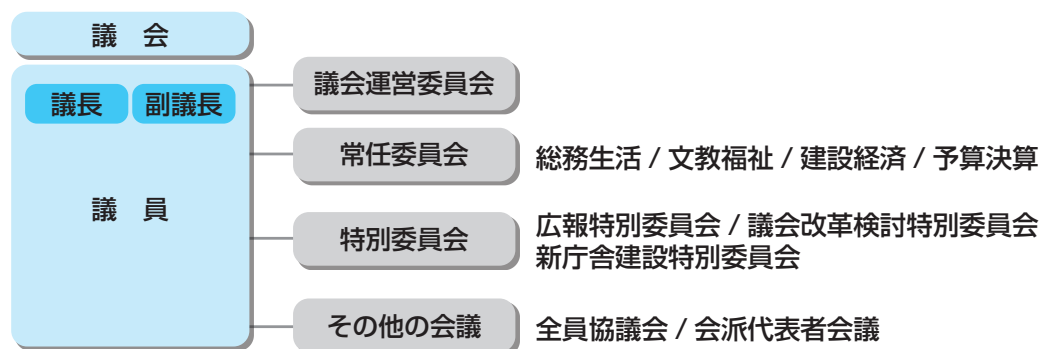
○ 議会の責務は？

- 1 市の意思決定機関として、適正に市政が執行されるよう調査し、及び監視します。
- 2 市民自治によるまちづくりを推進するため、市民の意思を把握し、市政に反映させるよう政策立案機能の充実に努めます。
- 3 会議の公開を原則とするとともに、市民への説明責任を果たすため、積極的な情報の提供により、開かれた議会運営に努めます。



○ 南相馬市議会の構成は？

市議会には、定例会や臨時会がある本会議の他に、常任委員会をはじめ議員がグループに分かれて、詳しい調査や話し合いをするためのさまざまな組織があります。



○ 議会はいつ開かれるの？

定例会 …… 毎年3、6、9、12月の年4回開催します。

臨時会 …… 定例会以外に必要な場合に開催します。



南相馬市議会を傍聴して

(原町区／T.Nさん)

友人と連れ立って6月議会の一般質問3日間の内ほんの一部ではありますが傍聴いたしました。

議場の雰囲気は、三方のドアは開放されており明るく開放的に感じました。コロナ対策のためなのかも知れませんが、市執行部の方々も議員の方々もマスク着用については自由であり、以前のような全員マスク着用の物々しい空気ではありませんでした。

一市民として市議会の動きについては常に関心を持ち続けていましたが、毎議会を傍聴することはできませんが、今回機会があり久々に議場に入りました。議員さんの机にはそれぞれにパソコンが設置されていて、さすがに時代の流れを感じました。

提出議案の要旨と一般質問件名表、市議会定例会予定表(案)傍聴アンケートと心得などの印刷物をいただいて傍聴席に着きました。

市長提出議案の要旨を見ますと、南相馬市人権条例制定についてを始め様々な条例の一部改正など、その他工事請負契約締結や市の財産取得について等々、また補正予算も市民の生活に直結する広範囲の議案が市議会で議決されている事を改めて知る事ができました。また議会用語の解説も添付されていて大変勉強になりました。

一般質問については、それぞれの議員活動の中から住民の視点で捉えられていたと思います。執行部とのやり取りでは一問一答方式は傍聴者にとって、とてもわかり易いと思いました。

南相馬市政は、住民との距離がまだまだ遠く、住民が知るのは決まった後になる事が多いように感じます。地方自治の自治とは、住民自ら治めるという意味で、住民が主人公であるべきだと思います。

住民のみなさんに市政の情報が多く、より詳しく伝わる事が大切で、執行部による知らせたい情報と違って(失礼かな)、みなさんの知りたい情報を伝えるという点で、「議会だより」の役割は大きいと思います。

郡 俊彦

サブタイトル：厳暑号

厳暑(げんしょ)とは、厳しい暑さを指す言葉になります。

9月の定例会(予定)

- 9月5日(火)
本会議…会議録署名議員の指名・会期の決定・諸般の報告・議案の提出及び説明
- 9月8日(金)・11日(月)・12日(火)
本会議…一般質問
- 9月13日(水)
本会議…議案に対する質疑、委員会付託
委員会…予算決算常任委員会
- 9月14日(木)・15日(金)・19日(火)
委員会・分科会…総務生活、文教福祉、建設経済
- 9月26日(火)
委員会…予算決算常任委員会
- 9月29日(金)
本会議…委員長報告(質疑、討論、表決)

※この日程は変更されることがあります。

本会議は原則午前10時に開会します。議会を傍聴する際には、日程をご確認の上、市役所本庁舎4階までお越しください。

● 問い合わせ…議会事務局 ☎24-5311

市議会ホームページ・議会インターネット中継をご覧ください

インターネット中継では、生中継と録画配信(本議会のおおむね5日後)でご覧いただけます。また、各議員の一般質問については、QRコードより視聴可能です。

下記のアドレスから市議会へアクセスしてみてください。

南相馬市ホームページ <http://www.city.minamisoma.lg.jp/>

○ 請願・陳情の提出をされる方へ：次回の9月定例会においては、8月29日(火)午後4時までに提出してください。

広報特別委員会



小川尚一、田中京子、田中一正、郡 俊彦
委員長 菊地洋一、副委員長 岡崎義典、

編集後記

久しぶりに議員となり、戸惑いながら編集委員を引き受けました。

正・副委員長を中心に、定例会毎の各号の編集を、企画から、最後の校正まで、議員が責任を持って進めています。

委員の皆さんが、このことに誇りを持って取り組んでいる事も感じ取れます。

市民のみなさんがどう見ておられるか、知りたいとも思います。

南相馬市政は、住民との距離がまだまだ遠く、住民が知るのは決まった後になる事が多いように感じます。

地方自治の自治とは、住民自ら治めるという意味で、住民が主人公であるべきだと思います。

住民のみなさんに市政の情報が多く、より詳しく伝わる事が大切で、執行部による知らせたい情報と違って(失礼かな)、みなさんの知りたい情報を伝えるという点で、「議会だより」の役割は大きいと思います。

郡 俊彦